

不來方 美術 Koz-Art

2015/08/03

No23

KozArt
art & craft
Kozukata
Senior
High School
2015
美

広報紙【コズアート】

01

夏のデッサンコンクール



授業も朝デッサンも、1つの題材を描くのに、数回に分けて描き続けます。1日でデッサンを仕上げる経験は、貴重な体験になります。

7月30日[木]夏の校内デッサンコンクールを実施しました。美工コース1年～3年生の希望者24名が美術室の集合し、6時間のデッサンに挑戦です。今回の題材は石膏像アマゾンと布、花、ガラス器の組み合わせです。朝から30℃を超える暑さでしたが、みんな意識を集中し構図を取り始めました。1年生はまだ首像の単体しか描いていないので構図を考える難題から臨みます。2,3年生は、像の大きさを意識しながら、題材の構成と余白の関係を調整しながら構図を決めていきました。描画材料は、鉛筆、木炭の選択制で3年生は自分の受験実技を意識して描画材料を選択しました。8時45分開始15時45分終了。その後担当教員が一点ずつ講評し、3点を優秀作品として表彰しました。16時30分に熱いアートな1日の幕を引きました。

02

ピロティでの彫刻制作

夏休み中も、美術部・工芸部の活動は続きます。今回は、夏の夕暮れ不來方高校の一コマ。

彫刻に取り組む3年生が、忙しい夏課外の合間を縫うように人体制作を進めています。この時期の3年生は、5教科の課外や課題、美大受験の実技課外、美大のA0試験準備、そして秋の高総文祭の出品作品の仕上げと大忙しです。「いくら時間があっても足りないや!」という感じですが、こんな良い時間も流れています。日中の暑さが少し和らぐ夕方。黙々と人体に取り組んでいる生徒(絵画専攻)に、首像を作る彫刻の生徒が歩み寄り、作品について話し合っています。少し涼しい風が吹き抜ける芸術棟のピロティに、蟬の鳴き声と彫刻の回転台の回る音「ジージーゴゴゴ」。そして別の部屋で作業をしていた彫刻専攻の生徒が加わり一緒に作品を見ている。みんなすごく忙しいのですが、このように相手を尊重しながら作品について真剣に語り合える環境が存在することの大切さを爽やかな風とともに感じました。



不來方高校芸術棟には、いくつかのピロティがあります。そこは資材置き場や、屋外の制作スペースになります。石彫や木彫に取り組む生徒もいましたよ。